

レジメン名

FOLFOX+RT

出典 PRODIGE5/ACCORD17試験

実施部署区分

☐入院

☐外来

☐処置

対象疾患

食道癌

☒進行・再発

☐補助療法(術前・術後)

☐

☐

投与減量の基準			
好中球	1000/mm ³ 未満	PLT	5万/mm ³ 未満
その他	Grade3以上(末梢性ニューロパチーを除く)		
上記の場合、各薬剤の約20%減量を検討、次回投与時5-FU急速静注を中止する			
末梢性ニューロパチー	Grade3		
	Grade2が次コース開始時まで持続		
上記の場合、オキサリプラチンの20%減量を検討			

1コース期間

14日

総コース数

FFOLFOX:
6コース

(次のコースまでの標準期間)

投与中止の基準

好中球	1000/mm ³ 未満	PLT	5万/mm ³ 未満
その他	Grade3以上(末梢性ニューロパチーを除く)		
その他	末梢性ニューロパチーGrade3以上		

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1、d8等)
エルブラット(オキサリプラチン)	85mg/m ²	5%TZ250mL	2時間	day1
レボホリナート	200mg/m ²	5%TZ250mL	2時間	day1
フルオロウラシル(急速静注)	400mg/m ²	NS50mL	全開	day1
フルオロウラシル(持続静注)	1600mg/m ²	輸液適量	46時間	day1
放射線	2Gy	総線量50Gy		照射例: day1-5、8-12、15-19、22-26、29-33

1日投与順
(経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、
溶解液まで含む)

day1
<メイン>
①生食20mL(CVポートよりのルート確認用)
②アロキシ0.75mg/バッグ+デキサート9.9mg※¹(15分)
※1 アプレビタントを併用する場合デキサートは4.95mg
③エルブラット85mg/m²+5%糖液250mL(2時間)
<側管>
③レボホリナート200mg/m²+5%糖液250mL(2時間)
エルブラットと同時に
<メイン>
④フルオロウラシル400mg/m²+生食50mL(全開)
⑤生食50mL(フラッシュ用)
⑥フルオロウラシル1600mg/m²+生食 α mL 計100mL
インフューザーポンプ使用にて46時間で投与